



特集

# JAあいち三河 自己改革実践中

## ～平成29年度の取組みについて～

JAグループでは平成28～30年度を集中期間と位置付け、JA自己改革の着実な実践に取り組んでいます。今年度はその成果が問われる最終年度です。目標とする『農業者の所得向上』、『農業生産の拡大』、『地域の活性化』を実現するためには、自己改革の着実な実践とともに、組合員や地域住民の皆様からの理解と共感を得るための情報共有の取組みが極めて重要と考えます。

今回の特集では平成29年12月末までに取組んだ自己改革の一例を紹介いたします。

農業者所得の  
向上

農業生産の  
拡大

地域の  
活性化



平成29年11月22日

# 地域農業ビジョン策定へ 生産部会長らと意見交換



出席者と意見を交える天野組合長

JAあいち三河は11月22日、自己改革の根幹となる地域農業ビジョンの策定に向けた検討委員会を本店で開いた。

大幅な生産力の減少が懸念される10年先を見据えて「どのような産地を目指すか」「誰が担い手となるのか」「農地の効率的な集積や利用にどう取組むのか」などの課題を組合員とJA、行政が共有。地域農業の将来像を作り上げる目的で、委員会を発足した。

この日は生産部会、青年部・女性部の代表、愛知県や岡崎市、幸田町、JA職員ら27人が参加した。

地域農業ビジョンは、30年度からの「第7次中期3か年事業計画」と連動。組合員や行政と連携しながら実現を目指す。

平成29年12月10日、16日

## 収穫物多彩に一新 農業体験付き定期貯金 「アグリセット」



収穫を楽しむ「アグリセット」の契約者ら

JAあいち三河では農業体験付き定期貯金「アグリセット」を取扱っている。29年度は体験用畑の管理を「第2農業塾」に依頼したことで、収穫物のバリエーションが広がった。12月に行った収穫祭では2日間ですべて26組81人が参加した。

第2農業塾はJAや岡崎市の「農業塾」の修了生。少量多品目栽培に取り組んでおり、産直出荷を学んでいる。

平成29年11月20日～12月29日

## 給与振込者に 新米プレゼント お米引換で来店促す



給与口座指定者に先着でプレゼントした真空パック「あいちのかおり」

JAあいち三河は11月20日からの約1カ月間、JAを給与振込口座に指定する利用者(9月末時点)を対象に、管内産のお米「あいちのかおり」(真空パック300g)をプレゼントした。平日の支店窓口で先着3,000個。貯金キャンペーンのダイレクトメール(DM)に引換券を付けた。

真空加工で鮮度を保った地元産の新米のおいしさを知ってもらい、産直店舗への誘致が目的。利用者を増やし、農家所得の向上や地域農業のファン増加を目指した。

平成29年11月27日～12月24日

## ローン利用者にお米プレゼント 割引券付け リピート目指す



岡崎産の新米「ミネアサヒ」と無料引換券

11月27日から12月24日までの約1カ月間、JAで住宅ローンなどを利用した約3,000人を対象に、産直店舗で地元岡崎産の新米「ミネアサヒ」(玄米2kg)をプレゼントした。対象者にははぎを配布し、産直店舗へ誘致して地元農産物の購入促進を狙った。

農業を応援する准組合員を増やすための取組みで、リピーターとなってもらえるよう、はぎには定期的に使える米の10%割引券を付けた。



牡牛座  
4/20 - 5/20

【全体運】プライベートの充実に意識を向けるとグッド。やるべき作業を早めに片付けて、好きなことや趣味に打ち込んで  
【幸運を呼ぶ食べ物】 スズキ

平成29年7月3日~7月24日

## 組合員と 意見交換図る 地区別意見交換会 を開く



地区別意見交換会であいさつする  
天野組合長

JAあいち三河は7月3日から24日にかけて、管内の126会場で組合員と地区別意見交換会を行った。

意見交換会のために作成したDVDや冊子を使って事業の報告や計画の説明を行った後、出席者との意見交換をする。事業への理解を深めてもらい、意見や要望を事業運営に反映させる目的で毎年行っている。意見や要望の一部は、回答とともに広報誌に掲載した。

平成29年11月11日

## 総代研修会で 理解深める 中央会山崎氏招き 講演会



講演を行う山崎部長

農協を取巻く情勢を知ってもらい、理解を深めてもらう目的でJAあいち三河農協総代を対象に11月11日、幸田町民会館で総代研修会を開いた。当日は総代と役員から547人が参加した。

概況報告後に、JA愛知中央会の山崎勝美教育部長らが講演。山崎部長は政府による農協改革の発端から農協改革の狙いなどを話し、「総代はJAと正組合員をつなぐパイプ役である」と役割を説明した。

平成29年11月1日~11月30日

## 地元米を デンソー社員食堂に 納入 地産地消を育む



社員食堂に飾ってあるポスター

JAあいち三河は11月の1カ月間、デンソー幸田製作所の社員食堂へJA管内の新米「あいちのかおり」4トン进行納入した。

夏には梨を同製作所内で特別販売した。これらの取組みを通してJAは同社社員に地元農産物への興味や関心を持ってもらい、産直店舗の利用や地元農業の応援団化を促し、農家所得の向上につなげたい考え。今後も同社と調整しながら不定期で納入を続ける予定だ。



「農業応援チケット」についてうたったキャンペーンちらし

平成29年6月26日~8月15日

## 特典としてチケット配布 貯金で農業を応援

JAあいち三河は、6月26日から8月15日にかけて貯金のサマーキャンペーンの特典として同JAでの産直店舗6店で使える「農業応援チケット」を新たに設けた。農家所得の向上と貯金契約者の地域農業応援団化が狙いだ。全店で先着6万枚配布した。

30万円以上の定期貯金契約者を対象に10万円ごとに0.1%に相当する100円分のチケットを進呈。総合事業を活かしたJAらしさを念頭に企画した。貯金利用のみの契約者が少なくない中、産直店舗に足を運ぶきっかけをつくり、地元農産物の魅力発信、消費拡大を目指した。